

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 健康福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県身体障害者総合福祉センター (津市一身田大古曾 670 番地2)
指定管理者の名称等	社会福祉法人三重県厚生事業団 理事長 梶田 郁郎 (津市一身田大古曾 670 番地2)
指定の期間	平成 23 年4月1日 ~ 平成 28 年3月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの事業に関する業務 (生活援助棟としての業務、福祉センターA 型としての業務) ・センターの施設及び設備の利用の許可等に関する業務 ・センターの利用料金の收受等に関する業務 ・センターの維持管理及び修繕に関する業務 ・その他センターの管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		管理に関する基本協定書・年度協定書に定める仕様に従い、施設入所支援、日中活動支援及び通院・通所リハビリテーション等の事業を適切に実施するとともに、施設設備の維持管理及び修繕を支障なく実施している。
H24	B		
H25	B		
H26	B		
H27	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		生活援助棟部門では、医療機関及び行政機関等と連携し、受傷後から社会復帰後の支援まで関わるなど、通過型訓練施設として施設入所支援及び日中活動支援を実施した。 福祉センターA型部門では、医療機関及び居宅介護支援事業所などと連携し、在宅障がい者、要介護者等を対象とした外来通院リハビリテーション、通所リハビリテーション等を実施した。
H24	B		
H25	B		
H26	B		
H27	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

収入の部		支出の部	
指定管理料	688,351,668	事業費	221,789,896
利用料金収入	858,833,136	管理費	1,572,741,272
その他の収入	299,922,239	その他の支出	21,206,771
合計 (a)	1,847,107,043	合計 (b)	1,815,737,939
収支差額 (a)-(b)	31,369,104		

参考

利用料金減免額	-
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26実績値	H27実績値
H23	B		施設入所支援稼働率	96%	92%	91%	91%	73%	88%
H24	B		地域生活移行率	50%	68%	53%	58%	20%	42.5%
H25	B		三重県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭参加人数	2,500人	2,720人	2,747人	2,845人	3,014人	2,939人
H26	B		福祉用具相談指導件数	300件	304件	300件	304件	304件	306件
H27	B								
全期間におけるコメント									
<p>・全期間において目標未達成であった施設入所支援稼働率については、高次脳機能障がい者への訓練や自動車訓練等の専門的・特徴的な訓練の実施等、今後も個々のニーズに応じた取組を進める必要がある。</p> <p>・平成26年度以降、目標が達成されていない地域生活移行率については、引き続き個別支援計画に基づく地域移行支援等の取組を進める必要がある。</p> <p>・三重県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭参加人数については、全期間において成果目標を大きく上回った。引き続き、社会参加の促進及び競技性の向上を視野に入れながら、各種スポーツ団体と連携して実施することが求められる。</p> <p>・福祉用具相談指導件数については、成果目標を達成した。引き続き、障がいのある方が安全で快適な生活が送れるよう、福祉用具相談指導を実施していくことが求められる。</p>									

6 総括評価

<p>・身体障害者福祉センターA型及び自立訓練(機能訓練)を実施する県内唯一の障害者支援施設として、早期のリハビリテーションにつながるよう、医療機関や行政機関等と連携しながら障がい者の個々のニーズに応じたサービスを提供しており、障がい者の地域移行や社会参加の取組を進めている。</p> <p>・定期的にスポーツ教室等を開催するとともに、三重県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭を開催しており、障がい者スポーツの推進に貢献している。</p> <p>・三重県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭については、アンケート調査を実施し、運営委員会を通じて事業の改善を重ねることにより、参加人数が成果目標を大きく上回っている。</p> <p>・当施設は、障害福祉サービスとして、主に、怪我や病気等により、一定期間、身体的な機能訓練等が必要となった急性期病院を退院する障がい者を対象としているため、利用者数が変動することとなるが、引き続き、利用者に応じた訓練の実施等、きめ細かなサービスを提供するとともに、地域における潜在的なニーズの掘り起こしに向けた関係機関への継続的な広報活動等の取組を実施することにより、利用実績の向上を図る必要がある。</p> <p>・ニーズの変化に対応するバランススコアカードを用いて事業運営を実施したこと等により、利用者満足度は高い水準を維持している。</p> <p>・日常点検により修繕箇所等に適切に対処するなど、収支のバランスを考慮しながら、施設の適正な維持管理を実施している。</p>
<p>以上のことから、三重県身体障害者総合福祉センターの施設の設置目的である「身体障害者の福祉の増進」に向け、適切に運営されていると評価する。</p>

「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :	「A」	業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	業務計画を順調に実施している。
	「C」	業務計画を十分には実施できていない。
	「D」	業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
「3 施設の利用状況」 「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :	「A」	当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	当初の目標を達成している。
	「C」	当初の目標を十分には達成できていない。
	「D」	当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
県の評価 :	「+」(プラス)	指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
	「-」(マイナス)	指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
	「 」(空白)	指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。